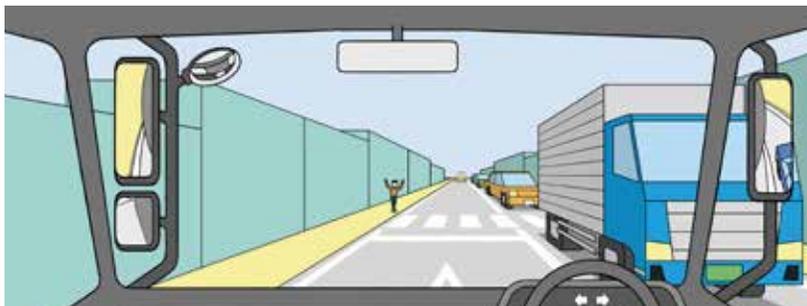


「横断歩道」通過時の危険

事故を未然に防ぐためには、運転中に遭遇するさまざまな交通状況において、危険を予知し、的確に回避することが必要です。予測される危険や、それを避けるための運転について考えてください。



交通状況

- ・あなたは午後3時頃、集荷先に向かっていきます。
- ・片側一車線道路を直進中です。前方に横断歩道があります。
- ・自車の車線は流れていますが、反対車線は渋滞で車が停車しています。
- ・左の歩道に、小学生が手を振っているのが見えます。

Q どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？

このような危険が！

A

- ・小学生の歩行中に多いのは、飛び出しによる事故です。一般的に小学生は自分の興味の対象に向かって急に走りだしていきたり、逃げていきたりすることがあります。
- ・特に低学年では危険予測能力が十分に身についておらず、自分の視野に車が入っていないと安全だと思い込んでしまうこともあります。
- ・身長の高い子供は駐停車車両の陰に隠れてしまい、子供もドライバーもお互いの存在を発見しにくくなります。



このような運転を！

A

- ・子供の「飛び出し」特性を頭に入れ、子供を発見したら十分に注意して運転しましょう。
- ・横断歩道付近では一時停止し、車両の死角に横断歩行者がいないかどうか確認する必要があります。
- ・座席の高いトラックは前方直下が死角になりやすいため、しっかり安全を確認して運転しましょう。